

# みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.10 令和2年11月26日

## 海藻おしば教室(剣崎小学校4~6年)のアンケートより

- ・海の森がなくなったら、色々な海の生き物がこまる
- ・海そうがいろんなさわりごちで、おもしろかった
- ・海そうが海をきれいにしているのにびっくり
- ・とじている海そうが、水の中に入れると開くのにおどろいた
- ・海そうを使ってアートを作るなんて不思議だと思った
- ・海のことがもっと知りたくなりました/また海についての授業を受けたい
- ・とてもふしぎなたいけんでたのしかった
- ・最初はあまりやる気がなかったけど、やってみたらすごくたのしかった
- ・海そうの大切さやいきものにどんな影響があるかなどがわかって、これからも海を守っていかないといけないということがわかった
- ・海そうについてそんなに考えたことはなかったけど、今回のことで興味を持てた
- ・家の前の海に打ち上げられた海そうを使って、家でやってみたいと思った



## 海藻おしば教室の報告書が届きました

海藻おしば協会から、海藻おしば教室の報告書が届きました。(右の写真)子どもたちの作品やアンケートのまとめも載っています。

## 小パール隊の出口さんが神奈川新聞に取り上げられました

11月11日と18日、神奈川新聞のコラム「三浦半島に生きる」に、小網代パール海育隊(小パール隊)代表理事の出口浩さんが紹介されました。小パール隊には、マダイの稚魚放流や真珠の養殖で、たいへんお世話になっています。記事によれば、9年前に大病をされてから、「小パール隊の活動を通して、子どもたちに海の素晴らしさを伝えたいという思いが強くなった」そうです。詳しい内容は、神奈川新聞をご覧ください。

## SDGsについて その8 “SDGsをめぐる世の中の動き”

### 日本初の自然エネルギー100%の大学を目指して

千葉商科大学では、全館の屋上に太陽光パネルを設置し、使う電気すべてを再生可能エネルギーにするなど、環境エネルギー問題で、全国の大学に先駆けたチャレンジを続けています。2023年度までに、ガスも含めたすべての消費エネルギーに相当する発電量を目指しているそうです。

2019年9月には、SDGsの達成に向けた取り組みを学内外で共有し、社会的責任を果たしていくための指針として、「千葉商科大学SDGs行動憲章」を策定しています。興味のある方は、次のURLにアクセスしてください。[https://www.cuc.ac.jp/about\\_cuc/sdgs/charter/index.html](https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/sdgs/charter/index.html)

みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、

学校教育課まで 882-1111 (内線428)